

2022年2月18日

各位

三菱UFJ信託銀行株式会社

## 環境省「グリーンファイナンスモデル事例創出事業」における 弊社インパクト投資型ファンドの選定について

三菱UFJ信託銀行株式会社（取締役社長 <sup>ながしま いわお</sup>長島 巖、以下 三菱UFJ信託銀行）は、国内の上場株式を組み入れ対象とするインパクト投資型ファンド\*1（以下、本ファンド）が2021年度 環境省「グリーンファイナンスモデル事例創出事業（<http://www.env.go.jp/press/110511.html>）」として選定され、「インパクト測定・マネジメントに係る指針\*2」及び「インパクト投資におけるインパクト測定・マネジメント実践ガイドブック\*3」に適合すると確認されたことをお知らせいたします。

環境省「グリーンファイナンスモデル事例創出事業」は、特に環境面においてモデル性を有すると考えられるサステナビリティ・リンク・ローン/ボンドとインパクト・ファイナンスのモデル事例を創出し、各種ガイドラインに適合する事例の情報発信等を通じて国内に普及させることを目的としています。2021年度は計6件程度のモデル事例創出を予定しており、本件は本年度の第4号の適合性確認となります。

本ファンドは、日本におけるインパクト投資のパイオニアとして中心的な役割を担っている一般財団法人 社会変革推進財団（理事長 <sup>おおの しゅういち</sup>大野 修一、<https://www.siif.or.jp/>）の知見を活用し2021年10月20日より運用を開始しました。本ファンドでは、三菱UFJ信託銀行が独自に特定した「重大なESG課題」を起点に、これら課題の本質的な原因を踏まえ、課題解決に繋がる企業の選定とインパクトの向上に向けたエンゲージメント等を行っています。

本ファンドは、主に以下の点においてモデル性を有すると選定されました。

- ・ 世界のベストプラクティスや国際的な原則・フレームワークにも合うインパクトの測定・管理方法を実践的に取り入れている。特に GSG 国内諮問委員会 IMM ワーキンググループが2021年5月に策定したインパクト測定・管理に関する指針・ガイドブックに沿って設計された国内上場企業のインパクトを包括的に分析するファンドである。
- ・ 運用者がインパクト志向を掲げポートフォリオのインパクト戦略を策定。課題マップやロジックツリーを用いた多面的な分析から社会課題を構造化し原因を掘り下げて企業が解決できる個別課題を特定し、現時点ではインパクトビジネスの利益構成比が過半に至らない企業でも、将来当該ビジネスが企業全体の利益成長を牽引する場合は投資対象に含め、追加性を計測しやすい KPI と目標を設定。企業とインパクトの意図を共有できることを重視することでエンゲージメント効果を高める方針である。
- ・ インパクト達成に向けたモニタリングの中でエンゲージメントとネガティブインパクトの評価を継続的に実施するため、事業分析の経験が豊富なファンドマネージャーを運用チームに専属させ責任投資の専門人員と連携してインパクトを管理する体制を整えている。

三菱UFJ信託銀行は、お客さまからお預かりした大切な資産を長期的且つ安定的に増やしていく運用を行っています。本ファンドの運用を通じて、幅広いステークホルダーと共に、「安心・豊かな社会」の実現を目指してまいります。

\*1 2021年10月20日付プレスリリース「重大な環境・社会 課題の解決に向けたインパクト投資の開始 について」

[https://www.tr.mufg.jp/ippan/release/pdf\\_mutb/211020\\_1.pdf](https://www.tr.mufg.jp/ippan/release/pdf_mutb/211020_1.pdf)

\*2 本指針は、GSG 国内諮問委員会が実効的なインパクト測定・マネジメント（Impact Measurement & Management）の実現に資する基本的な考え方を取りまとめたもの。本指針に沿って、それぞれの機関投資家によって投資先企業が生み出すインパクトを含む企業価値の向上に向けて自律的な対応が図られることが期待されている。

[https://impactinvestment.jp/user/media/resources-pdf/GSG\\_guiding\\_principles.pdf](https://impactinvestment.jp/user/media/resources-pdf/GSG_guiding_principles.pdf)

\*3 本ガイドブックは、インパクト投資の実務者が、投資プロセスを通じて、IMM を実践する上で重要だと思われる検討ポイントや直面し得る課題と対応策について、グローバル及び国内における現時点での実践知を参考にする目的で作成されたもの。

[https://impactinvestment.jp/user/media/resources-pdf/Guidebook\\_for\\_Impact\\_Measurement\\_and\\_Management.pdf](https://impactinvestment.jp/user/media/resources-pdf/Guidebook_for_Impact_Measurement_and_Management.pdf)